生理学は、からだの取扱説明書

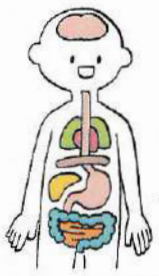
生理学講師　番匠谷　研吾

私は普段、薬学部で製剤学に関する研究・教育を行っています。製剤学は、薬を必要な場所へ効率よく届け、よりよく効かせるための工夫を考える学問です。研究を進めていると、「薬が体内でどのように運ばれ、どのように効くのか」を考えるためには、まず「からだがどのように働いているのか」を理解することがとても大切だと日々感じています。その土台になるのが生理学です。

生理学は、理解すべきことや覚える用語が多く、最初は少し難しく感じるかもしれません。しかし、唾液の分泌、味覚、嚥下、血液循環、呼吸など、授業で扱う内容は、皆さんが将来関わる口腔や全身の健康と深くつながっています。口の中だけを見ているようで、実はその先には全身の状態や生活があります。

授業では、単に言葉を覚えるだけでなく、「なぜそうなるのか」「患者さんではどう関係するのか」と考えながら学んでみてください。理解し、納得していくことの積み重ねが、目の前の患者さんをより深く理解する力になると思います。

皆さんが生理学を通して、からだのしくみに少しでも興味を持ち、将来の学びや臨床につなげてくれることを期待しています。



岡山大学病院実習

3年生（53期生）井上 あみ

岡山大学病院実習では保存科、歯周科、予防歯科、矯正歯科、インプラント・補綴科、技工室などを見学実習させていただきました。短い時間ではありましたが、アシスタントにもつかせていただき色々勉強させていただきました。その中で一番印象に残った科は矯正歯科です。上顎のバンドのセットとブラケットのボンディングのアシスタントにつかせていただいたり、治療の流れを見学させていただきました。その中で初めてバンドチューブを溶接している所を見ました。今までの臨地実習医院先では既にセットしていたものについていたため、当たり前のように感じていましたが、初めて溶接している作業を目の前で見れたのでとても勉強になりました。また6番だけでなく7番にまでバンドをセットしていたので理由を尋ねると、離脱しやすいのでそれを防ぐためでした。一般の歯科医院と違い、直ぐに予約が取れなかったり、患者さんも来院するのが大変だろうからとおっしゃられており、大学病院は診療が終わる時間も早い上に土日は診療をしていないので患者さんも直ぐにアポイントをとることができないので、そのような工夫をされていました。様々な所で一般歯科医院と大学病院の違いをこの目で見ることができとても勉強になりました。アシスタントではセメント練和をさせていただいたり、レジンの照射などを行わせていただき、普段の実習医院先での経験も活かすことができました。2日間ではありましたが、様々な科を見学・実習できて実りある実習となり本当に良かったです。これからの臨地実習も頑張りたいと思います。

臨地実習を終えて

3年生（53期生）大円坊 妃奈

10ケ月間の臨地実習を終えて思うことは、「まずはやり切った」という達成感でいっぱいです。臨地実習に向けては登院実技試験から始まり、登院筆記試験もありました。試験勉強も大変でしたが、いざ実習が始まると思うと緊張し上手くやっていけるのかという不安が大きかったのを覚えています。

3クールの実習を通して、医院毎にルールや治療に使用する器具や材料が異なり、実習医院先が変わる度に新しいことを覚えて環境に慣れていくのは大変でした。でも、どの実習先でも先生やスタッフの方々が優しく丁寧に教えてくださり、分からないことも質問しやすい環境だったので、一つ一つ理解しながら学ぶことができました。患者さんの誘導から診療補助、片付けまでを自分がすることで診療の流れを理解できるようにもなりました。また患者さんとのコミュニケーションも実習前より上手に取れるようになったと思います。小児に対しては分かりやすい言葉で治療内容を説明し、高齢の方には大きな声でゆっくり話すなど患者さんに合わせて対応ができるようになり、自分でも成長できたと感じています。

また治療の準備では処置内容に合わせて必要な器具や材料を考えながらセットできるようになり、アシスタントでは先生の次の動きを予測して行動することもできるようになりました。

歯科医院だけでなく、広島大学病院・岡山大学病院・福山市民病院で実習できたことも貴重な経験となりました。歯科医院では見ることのできない症例や全身疾患を抱えた患者さんへの対応を学ぶことができ、口腔外科では実際にガウンを着用してアシスタントや見学もさせていただき、とても勉強になりました。

この10ケ月間を通して毎日大変でしたが、終えてみるとこんなに月日が経過していたことに驚きました。

これからは国家試験合格を目指し、この実習で学んだことを活かしながら、患者さんに信頼される素敵な歯科衛生士になれるように努力していきたいと思います。

1・2年生 合同実習

6/29

2年生（54期生）綱川 美優

6月29日（月）午前中に1・2年生合同実習がありました。昨年とは違い2年生として1年生に印象採得と石膏模型の作製方法を教える立場でした。合同実習が始まる前は先輩として自分が正しく教えられるか、1年生に分かりやすく伝えられるかという不安がありました。

実習が開始し、初めに印象採得ではスパチュラやラバーボールの持ち方、トレーの選択から印象材の練和方法、トレーへの盛り上げや保持方法などを詳しく説明していきました。

また石膏模型の作製では混水比や練和方法、バイブレーターの使用方法、気泡が入らないように流し込むコツなど、自分が1年生の時に難しいと感じた点を中心に伝えられるように心がけました。専門用語だと伝わりにくい場面も多々あったため、実際に手本を見せながら説明したり、できるだけ分かりやすい言葉を選んだりすることを意識して実習に取り組みました。

また1年生が緊張せず、質問しやすい雰囲気をつくることも大切だと感じ、こちらから積極的に声をかけるようにしていきました。教える立場になったことで自分自身も基本的な操作や手順を改めて振り返ることができ、知識や技術の再確認につながり、充実した合同実習になったと思います。

今回の実習を通して人に教えることは自分自身の理解を深めることにもなると実感し、貴重な経験となりました。この経験を今後の実習や臨地実習にも活かし、技術だけでなく相手に分かりやすく伝える力やコミュニケーション能力を更に身に付けたいと思えるような実習でした。

1年生（55期生）岡 葵緒

今回の1・2年生合同実習で2年生の先輩と一緒に印象材と模型材について学びました。普段は同級生と実習をすることが多いので、先輩方と一緒に実習できる機会はとても貴重で新鮮でした。

印象材では材料の計量や練和方法、患者さんを意識して素早く練和しトレーに盛ることが大切だということを知りました。先輩方は何1つ無駄のない動きで、準備から片付けまでとてもスムーズで驚きました。分からないことを質問すると丁寧に教えてくださり、とても勉強になることばかりました。

模型材では水と粉の量を正確に計量することや気泡が入らないように流し込むことの大切さを学びました。先輩が実際にコツを見せながら説明してくださったので、自分では気づかなかったポイントを学ぶことができました。

また実習中は作業の手順だけでなく、効率よく進める方法や注意点も教えていただき、さまざまなことを学びました。

今回の実習を通して自分にはまだ足りない点が多くあることを実感しました。先輩の姿を見て今後どのような技術を身に付けていけば良いのかが少しイメージできたような気がしました。これからは今回学んだことを普段の実習でも意識して正確で丁寧な操作ができるように練習を重ねていきたいです。自分が2年生になった時には今回の先輩方のように後輩に分かりやすく教えられるよう、今から努力していきたいと思いました。

登院実技試験を終えて

2年生（54期生）松井 美羽

やっと登院実技試験が終わりました。6月にセメント練和、7月にアルジネート印象採得の試験を行いました。2年生になって初めてのセメント練和の実技試験はとても緊張していたのを今でも覚えています。1年次の診療補助実習以来だったので久々に練和した時は硬くなり上手く練ることができませんでした。なので、放課後はほぼ毎日残り先生に教えてもらったり、上手な友達の真似をしてたくさんの努力を重ねました。ただ試験本番は自分が納得のいく仕上がりにはならず、少し悔しい思いはしましたが、初めの頃と比べると物凄く上達したのは自分でも分かり、試験も無事合格できたのでとても嬉しかったです。

アルジネート印象では最初の準備から患者誘導、最後の片付けまで一連の流れを見られている中での印象採得だったので、これも緊張しました。アルジネートを練和するのが1年生の時からとても苦手で仕上がりも上手く採れなくて不安でした。2年生になってもなかなか上手く採ることができなくて諦めそうになりましたが、先生にコツを聞きながら頑張り続けました。試験結果はまだ分からず自信があるわけではありませんが、頑張った自分を信じたいと思います。

この登院実技試験ではたくさん努力して様々なことを学び、実技が上達したので、自分も頑張れば出来る！という自信がつきました。自分も努力すれば出来ることが分かったので、9月にある登院筆記試験も頑張りたいです。

令和8年度 行事予定

9月
2日(水) 登院筆記試験（2年生）
3日(木)～14日(月) 前期試験（2年生）
7日(月)～16日(水) 前期試験（1年生）
14日(月)～17日(木) 修学旅行（3年生）
25日(金) 就活メイク講座（3年生）

10月
1日(木) 登院式
実習医院顔合わせ会（2年生）
4日(日) 推薦入学試験
20日(火) 開校記念日
26日(月) DHS秋特別講座（3年生）
29日(木) 職員会議

11月
13日(金)・14日(土) 日本医歯薬研修協会講座（3年生）

12月
1日(火) 幼稚園実習（2年生）
6日(日) 一般入学試験　A日程
10日(木) 開校記念行事　白蔵祭
11日(金) DHS国試対策講座（2・3年生）
19日(土)～1月7日(木) 冬期休業

◆編集者
編集長　藤本 真姫
編集委員
藤原 里実・吉沢 律子
藤井 菜摘・池野 愛奈
渡邊華奈子
◆発行所
福山歯科衛生士学校
福山市南蔵王町
六-一九-三四
（〇八四）九四一-四四四三
HP http://www.fdhc.ac.jp